

## 国有林材の安定供給システム販売協定予定者の公表

令和6年8月20日

令和6年7月2日付け公募した、「令和6年度国有林材の安定供給システム販売(製品販売)(第3次公募)」の協定予定者を下記のとおり公表します。

物件番号	森林管理署等	樹種	協定数量(m <sup>3</sup> )	応募者数	最高点	最低点	協定予定者	提案内容の概要
3-01	磐城	スギ、ヒノキ、 低質材N	2,000	1	77	-	協同組合いわき材加工センター	選木時に細かい仕分けをすることにより、組合員へ小径木・柱材・中目材・曲り材・チップ材等、組合員各社の必要とする原木を適材適所に振り分けることができる。また、ログハウスや中・大型木造建築物等での大径材の需要を増やすことにより、今まであまり使用されなかった高齢級の大径材原木の搬出に貢献する。
3-02	福島	低質材アカマツ、 N、L	1,000	1	76	-	日本製紙木材株式会社	既存の販売先(製材所、合板工場、チップ工場、バイオマス工場)及び今後開拓する新規販売先の需要変動を踏まえて安定供給を図る。また幅広い顧客網を活用し、多様な要望を受け、規格や品質を明確にして生産性の向上に寄与する。
3-03	静岡	スギ、ヒノキ	750	2	76	65	静岡県森林組合連合会	販売先の地元製材所が近距離に複数社あり、各製材所に振り分けることにより、必要な時に必要なだけ供給することができる。また、清水港が近距離にあり輸出事業も盛んに行っている事から、大ロットの販売先があり、迅速に運搬・販売ができる。県産材を地産地消しつつ、国外にも県産材をアピールしていき、販路拡大を進めていく。
3-04	静岡	低質材N、L	1,350	2	80	59	西垣林業株式会社	バイオマスチップを燃焼効率の高い国内最大規模のバイオマス発電所へ供給することにより、原料チップの価値を最大限評価することで山元への還元を図る。また、安定的な原料の供給を行い、国産材の信頼性の確立、シェア拡大を進める。